

③ 【伝統食を伝える機会がない】

かつては、農業と共に地域住民の暮らしがあり、農作業に親戚等人が集まり、各家々で振舞われてきた伝統食があった。伝統食を知っている数少ない高齢者が、次世代に伝承したいと願っていて、機会があったら学びたい若者がいる。ただ両者をつなぐ場がないことが課題である。

④ 【しまい込んでいる人形・生活道具】

現在、高齢者のみの世帯で、かつては雛祭り・五月の節句等四季折々の伝統行事を子ども、また孫と共に過ごしてきたが、時代を経て、役目を終えた雛飾りや五月人形が蔵や押し入れに眠ったままとなっている。しまいっぱなしの人形のことを気にはなっている、自宅に飾る気力も、体力もなく自分一人の力では飾ることができないという話が聞かれる。人形を処分するにも子や孫と過ごした思い出や贈られた人（実家の両親）の想いを無下にできないと悩んでいる高齢世帯が何軒もある。中には、昭和の初期のものや大正時代のものも含まれており、大切に守っていきたいが、飾る場がなく、自宅に飾っても見てもらう人がいない状況が課題である。

事業の目的（上記の課題をどのような解決結果に導きたいのか）

- ・ **多世代がつながる場を創る**：地域住民同士の世代間を超えての交流や協力を促進し、地域の結びつきを深めることで、持続可能な地域づくりを支援する。
- ・ **地域の魅力発信と地域の活性化**：地域住民と共に、地域の魅力を発信するイベントを開催し、自我部・別院地域の住民に足を運んでもらうきっかけとなり、地域創生を目指す。地域の経済や文化、観光資源を活用し、地域の魅力を高めることで、住民や訪問者の関心を引きつけ、地域の活気を促進する。
- ・ **人口減少の抑制**：若者や子育て世代の定住促進や、外からの移住者を呼び込むことで、地域の人口減少に歯止めをかけることを目指す。
- ・ **伝統文化を伝える**：伝統文化や四季折々の行事を体験するイベントを通して、亀岡の伝統的な暮らしを知ってもらい、昔ながらの風習、行事一つ一つに込められた意味深さなどを伝える。また、若い世帯や子育て世代が地域のお年寄りと交流でき、実家に帰ったような温かい人間関係が築ける場を作る。
- ・ **伝統食・食育の発信**：季節ごと、行事ごとに食べられてきた伝統食を次世代に伝承していく食育のイベントを通して、亀岡の伝統文化を魅力として発信していく。伝統食の専門の講師の方をお招きして、地域住民が学び、子育て世代に体験型のイベントを通して伝えていく。
- ・ **新たな価値の創造**：地域資源の再発見と活用：地域に眠る資源や伝統文化を再評価し、それらを活用した新たな産業や観光資源の創出を促進する。しまい込んでいる人形や生活道具などに、新たな価値を見出し、それを活用して、観光に来る人を呼び込みたい。歴史的に貴重な物を大切に守る

こと。活動を通して、元気な地域を発信することで、都会にない人間関係の温かさや、文化・食・自然の豊かさなどを求めて、この地域を選択してくれる将来の移住者や、Uターン移住者の移住のきっかけの一助になることを期待する。

7. 事業内容

上記の課題を解決するために実施する事業の内容を具体的に記入してください。

・『四季折々の伝統をつなぐ』事業…昔からの四季折々の伝統行事にちなんだ風習や伝統食を次世代に伝えていく。先人の方々が、伝承してきた地域の風習を次世代に伝える。また、伝統食を次世代に伝えるため、体験型の食育イベントを開催し、それぞれの長所を活かし活躍する。その様子を地域の魅力として地域内外へ発信する。

・『豊かな自然発信』事業…地域の豊かな自然を守り、魅力を発信する。曾我谷川のホタルの鑑賞会、星空観賞会、筍掘りなど自然豊かな曾我部町ならではのイベントを企画する。

・『はるのひ憩いの場』事業…大切にしてきた人形などの展示を通して、展示して公開するという一つの目的を達成するために地域住民が協力し、交流すること。公開することによって、疎遠になっていた親戚、孫たちの帰省が促されたり、Uターン移住などのきっかけの一助になることを期待したい。また、田舎の伝統行事を体験したい地域外からの観光の集客を増やし、関係人口を増やしていくことにつなげる。

●スケジュール（会議、準備、イベント、検証などをいつ行うか、おおまかな計画を記入してください。）

実施時期	実施内容	場所・会場
月1回、第4(水)	はるのひミーティング	曹流寺：はるのひ本部
2月下旬～4月3日	ひなまつり展示・イベント(着物体験・大福)	
4月下旬～6月下旬	五月人形・こいのぼり展示・食育イベント(編み笠団子)	
7月上旬	ホタルの鑑賞会	春日部区内の曾我谷川・及び曹流寺
12月中旬	しめ縄づくり(春日部区の役員さんに教えてもらう)・餅つきイベント	春日部区公民館

10. ステップアップの内容	※活動2年目以降の団体は記入してください。 ① これまでの事業実施時の課題と成果、② 今回申請の事業はこれまでの事業と比べてどう活動の充実をさせているのか、具体的に記入してください。	
11. 次年度以降の展開	本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開をどのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。	
	実施内容	資金獲得方法(助成金・寄付金)
2年目	1年目の事業継続と共に、公開展示についてはテーマを決めたり、投票などの企画をして、集客を増やす。協力住民を増やしていく。	助成金・寄付金 イベント参加費
3年目	2年目の事業継続と共に、住民からのアイデアを形にしてイベントの開催で、さらに地域住民が活躍する事業となるようにする。	助成金・寄付金 イベント参加費
11. 審査会	審査会の発表順番は何番を希望しますか。いずれかに○をつけてください。申請書の提出が早い団体の希望を優先して順番を決めます。	
	一番最初	
○	前半	
	後半	
	一番最後	

申請額に対して減額で交付決定となった場合も申請事業を実施します。

※内容が本様式に入りきらない場合は適宜追加し、事業内容が分かる参考資料があれば添付してください。